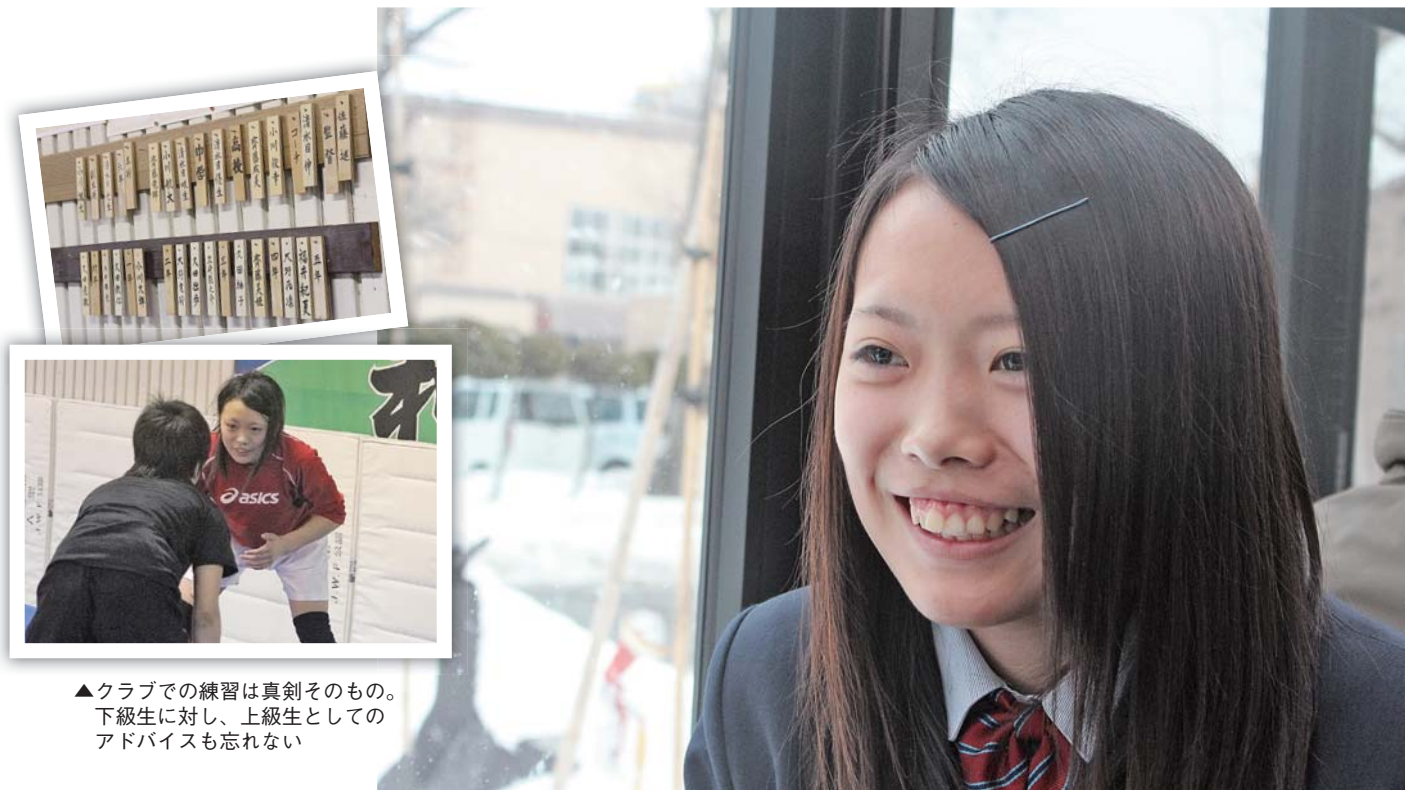


しみずめ ゆい
清水目 優生さん

Simizume Yui

Profile

十和田市出身。光星学院野辺地西高校2年。十和田レスリングクラブ所属。小学3年生から父の勧めでレスリングを始める。高校ではただ1人の女子レスリング部員。将来の夢は、父（伸さん：十和田レスリングクラブ監督）のように指導者になって次世代の選手を育てたいと話す。趣味は眠ること（笑）。



▲クラブでの練習は真剣そのもの。下級生に対し、上級生としてのアドバイスも忘れない

平成24年度十和田市体育、スポーツ賞表彰式で、2年連続「スポーツ賞」を受賞した清水目さん。一見すると笑顔がかわいらしい普通の高校生だが、マットに立つとファイターの表情に変わるレスリング選手。

2011年8月、高校1年生ながら全国高等学校選手権40kg級で優勝、12月の天皇杯にも出場し、2回戦で後のオリンピック金メダリスト小原日登美選手と対戦、「技をかけることができなまま一方的に終わってしまいました」と話すとおりの完敗を喫した。

しかし、その年の活躍が評価され、2012年2月にスウェーデンで行われた国際大会に日本代表として出場、カデット（16〜17歳）の部43kg級で見事銅メダルを獲得した。「選ばれたときはびびりました。国際大会への出場は初めてだったけど、実際に外国の選手と戦ってみてパワーさえつけば十分通用すると感じました」と、手応えをつかんだ様子を見せる。何よりも大会を通じて一緒に日本代表として戦った選手たちとは今でも連絡をとり情報を交換できて楽しいと笑顔を見せる。

「来年度は高校生活最後の年、できるだけ多くの試合に出て、いい成績を残して、国際大会にまた出場したいです。国際大会は楽しかったから」と、はにかみながらも意気込みを力強く語った。

レスリングはスポーツを楽しむ
きっかけになりました



◀日本代表のトレーニングウェアに身を包み、市長へ国際大会の結果を報告

